

まなびポケット保護者機能説明研修会を行いました。

各小中学校の町内教職員、教育委員会が学びました。

令和6年2月22日（木）に、町の「学習eポータル」として活用しているまなびポケットの保護者機能説明研修会をNTTコミュニケーションズ株式会社及び株式会社ドコモビジネスソリューションズの職員をお呼びしてオンラインで開催しました。朝の出欠連絡や保護者との連絡手段に活用できるツールを実際にPCの画面を操作しながら学びました。

①出欠連絡

- ◎保護者は欠席・遅刻・早退などの状況をオンラインで報告可能
⇒必要であればコメント欄で理由や諸連絡も同時に教職員に共有可能



②連絡帳での一斉連絡

- ◎連絡帳では学校から保護者への一斉連絡を受け取り確認することが可能
⇒アプリを利用の場合、端末のプッシュ通知機能をオンにすることで、学校から連絡が来た際にスマートフォン上に通知することが可能

③学習ログの確認

- ◎「ログ」から児童生徒の学習コンテンツへのアクセス回数・最終アクセス日時を確認できます。

④まなびポケット保護者向け機能ご紹介資料

まなびポケット保護者向け機能のご紹介資料になります。
下記のURLからご覧いただけます。
<https://manabipocket.ed-cl.com/support/tips/parents3/>



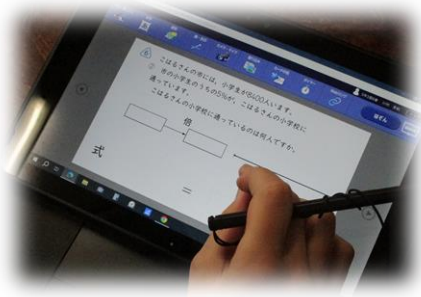
令和5年度のタブレット端末を活用した授業事例より 『個別最適な学び』『協働的な学び』につながっている様子

荒砥小 5年 算数

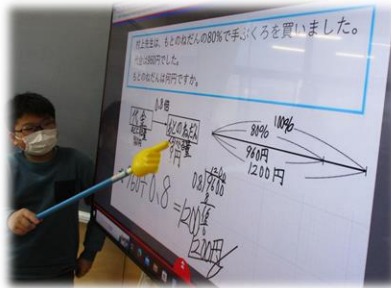


①授業開始前

フラッシュカードで、ウォーミングアップ。数秒で画面が切り替わる間に、児童はテンポよく答えていきます。学習に入る**リズムづくり**として活用しています。



② **オクリンク**に送られているワークシートに書きながら、**自力解決**していきます。



③ 個人が書いたものを共有し、大型ディスプレイに映し出して**全体交流**をしています。それぞれの児童のタブレット端末にも、共有した児童の画面が映すことができ、**個人の振り返り**にもつながります。

鮎貝小 6年 国語

総合の時間のまとめや発表会の際、レポート作成として小・中学校ともに活用できます。データとして保存することで、義務教育9年間の学びの跡を残すことができます。



① 自分が紹介したい日本文化について調べて、パンフレットにまとめます。児童は、調べたことを**ワード**に打ち込み、それをもとに、パンフレットの様式にまとめています。



② **2画面表示**をしながら作業を進めている児童も多数います。写真や画像は、ネットの資料からコピーして貼り付けています。



③ タブレットで調べている児童もいれば、本で調べている児童もいて、**ハイブリッドな形**で学習をしています。**学習の個性化**につながります。



④ 中間評価として、お互いのパンフレットを見合い、**アドバイス**する時間も設定しています。授業の最後に、**Teams**に提出させます。先生は、**進捗状況**を見取り、**評価**へ生かします。